

# 第 31 回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2021 年 6 月 24 日（木） 18:40～18:50

場所：ZOOM 開催

出席者（別紙参照）

## 報告事項（事務局 村上より）

### 1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

令和 3 年 4 月 20 日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。急性期医療機関は 97 件/4.5 ヶ月、回復期等連携医療機関は 174 件/4.5 ヶ月であり、運用開始から急性期医療機関、回復期等連携医療機関の両施設より受理した患者数は 3421 名、合計 6981 名の利用となった。

#### ・集計結果（全受理データ）

急性期医療機関、回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数、事務局への未送信件数を示し、未送信分に関しては送信していただくよう呼びかけた。加えて全受理データを用いて、年代別利用状況、骨折型別発症割合について報告した（ホームページ上の集計結果を参照）。

### 2. 大腿骨近位部骨折地域連携パスの変遷

・大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルが 2011 年 8 月から導入され、約 10 年が過ぎ、10 年間にける変化について検討した。パスデータをもとに前期（2011 年 8 月～2014 年 12 月）、中期（2015 年 1 月～2017 年 12 月）、後期（2018 年 1 月～2020 年 12 月）の 3 群に分け、患者特性及び入院期間、転帰等を検討した。

・パスの利用状況は前期で 2007 件、中期で 2495 件、後期で 2275 件であった。

・大腿骨地域連携パス北九州標準モデル導入から 10 年間において、発症年齢は高齢化、急性期・回復期等連携医療機関の在院日数は短縮、回復期等連携医療機関の退院時 Barthel Index は転機に影響を与える可能性が示唆された。

### 3. その他

- ・今回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会に関する参加証の発行について案内した
- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。

## ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：杉保聖子、担当医：伊藤英明

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@mbox.Med.uoeh-u.ac.jp

文責 村上 武史、伊藤 英明

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局幹事

産業医科大学リハビリテーション医学講座 Tel 093-691-7266

2021年6月24日開催  
第31回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会

委員登録出席医療機関：

※Zoom参加者リストより当協議会事務局で確認できた医療機関名のみ掲載

九州労災病院	産業医科大学病院	健和会大手町病院
北九州総合病院	北九州市立医療センター	小倉記念病院
製鉄記念八幡病院	JCHO九州病院	新小倉病院
新小文字病院	市立八幡病院	戸畑共立病院
正和中央病院	福岡新水巻病院	
北九州八幡東病院	小倉リハビリテーション病院	正和なみき病院
新行橋病院	北九州安部山公園病院	芳野病院
大手町リハビリテーション病院	小倉きふね病院	北九州中央病院
戸畑けんわ病院	東筑病院	新生会病院
くらて病院	新中間病院	遠賀中間医師会おかがき病院
浅木病院	慈恵曾根病院	